

〔科目名〕 経済学基礎論b（経済学科 1 年次対象）				〔単位数〕 4 単位		〔科目区分〕 専門科目 基礎科目(必修科目)	
〔担当者〕 青山直人、工藤恭嗣 Aoyama, Naoto、Kudo, Yasushi			〔オフィス・アワー〕 時間・場所:授業中にアナウンスします			〔授業の方法〕 講義	
〔科目の概要〕 <p>経済学は、私たちの消費から生産、政府の行動まで、身の回りのさまざまな出来事に密接に関係しています。本科目は、これから学んでいく経済学がどのような学問かということを学ぶ科目です。授業は、主に次の3つのパートから構成されています。</p> <p>(1) 経済学的な考え方:経済学は現実社会を理解し、その問題点の対処法を考える学問といえますが、その際、どのような視点で、どのような問題意識をもち、どのように論理を展開するのでしょうか。社会科学としての経済学の基本的な考え方を学びます。</p> <p>(2) ミクロ経済学:経済社会を構成する私たちが、何を、どれだけ購入するのか。そのためにどれだけ働き、生産を行うのか。そこに問題があるとすれば、どのように対処するのか。個々の消費者の行動と企業の行動、市場の効率性、市場の失敗と政府の役割について考えます。</p> <p>(3) マクロ経済学:失業や金融財政政策など、日本経済全体に関わる問題を理解するためには、個々の主体の行動だけでなく、経済全体を俯瞰する巨視的な視点も必要となります。そのために必要な考え方、知識を身につけます。</p> <p>なお、前半 15 回を青山が、後半 15 回を工藤が担当します。</p>							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>経済学基礎論は、今後 4 年間で学んでいく経済学のすべての科目の基礎となります。経済学にはミクロ経済学、マクロ経済学、財政学、公共経済学、労働経済学、金融経済学、地域経済学、産業組織論など、さまざまな分野があり、それらの諸分野は 1 年生の秋学期以降に勉強します。本科目は、それぞれの分野がどのように関連しているのかを示すガイドラインとしての役割も果たします。本科目を通して、経済学の考え方に触れ、経済学に興味をもってほしいと思います</p>							
〔科目の到達目標〕 <p><b>中間目標:経済学の基礎的な知識を身につける</b></p> <p>テキストでは経済学の基礎的な考え方として、経済学の 10 原則というものを設定しています。まず、この原則を理解することが最初の目標となります。</p> <p><b>最終目標:経済学的な視点から物事を考える力を身につける</b></p> <p>新聞で取り上げられるような様々な社会や経済の問題について、自分なりの問題意識で、経済学に則して考えることができるようになることが最終目標です。</p>							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2	DP3	DP4	DP1 ○	DP2 ○	DP3	
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>・板書の際、文字の大きさに気をつけて、丁寧に書くようにいたします。</p>							

<p><b>〔教科書〕</b>  N.G.マンキュー著、片桐満・篠潤之介・溝口哲郎訳『マンキュー入門経済学 第4版』東京化学同人、2025年。</p>	
<p><b>〔指定図書〕</b>  N.G.マンキュー著、片桐満・篠潤之介・溝口哲郎訳『マンキュー経済学Ⅰ ミクロ編』東京化学同人、2025年。  N.G.マンキュー著、片桐満・篠潤之介・溝口哲郎訳『マンキュー経済学Ⅱ マクロ編』東京化学同人、2025年。  齊藤誠・岩本康志・太田聡一・柴田章久、「マクロ経済学 New Liberal Arts Selection」新版、有斐閣、2016年。</p>	
<p><b>〔参考書〕</b>  N. Gregory Mankiw (2023). Principles of Economics, 10th Edition. Boston: Cengage Learning.  内田浩史『金融〔新版〕』有斐閣、2024年。</p>	
<p><b>〔前提科目〕</b>  なし</p>	
<p><b>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</b>  期末試験と小テストの成績を用いて総合的に評価する予定です。</p>	
<p><b>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</b>  経済学に限りませんが、物事を理解するためには、関連する知識を単に収集するだけでなく、その土台となる基本的な考え方を身につけることも大切です。授業で説明することをただ暗記するのではなく、なぜそうなるのか、論理展開の経緯を大切にしてください。自分で考え、理解してはじめて、知識が自分のものとなり、財産となります。  講義は以下のスケジュールに沿って進めますが、授業の理解度等によっては、スケジュールを変更することもあります。</p>	
<p><b>〔実務経歴〕</b>  青山： 該当無し  工藤： 公正取引委員会、コンサルティング業</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか):人々はどのように意思決定するか  内 容:経済学の10原則(ミクロ的視点)  教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第1章</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか):人々はどのように影響しあうか、経済は全体としてどのように動くか  内 容:経済学の10原則(市場の機能と政府の役割、マクロ的視点)  教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第1章</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか):経済学者らしく考えよう  内 容:科学者としての経済学者、経済モデル  教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第2章</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか):相互依存と交易の便益  内 容:生産可能性、特化と交易  教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第3章</p>

第5回	<p>テーマ(何を学ぶか):相互依存と交易の便益</p> <p>内 容:機会費用、比較優位</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第3章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):市場における需要と供給</p> <p>内 容:市場、需要曲線、個人の需要と市場の需要、需要曲線のシフト</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第4章</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):市場における需要と供給</p> <p>内 容:供給曲線、個人の供給と市場の供給、供給曲線のシフト</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第4章</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):市場における需要と供給</p> <p>内 容:均衡、需要・供給のシフトと均衡の変化、価格による資源配分</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第4章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):弾力性とその応用</p> <p>内 容:需要(供給)の価格弾力性とその決定要因、需要(供給)の価格弾力性の計算</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第4章付論</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):需要、供給および政府の政策</p> <p>内 容:価格の上限・下限は市場の成果にどのような影響を及ぼすか</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第5章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):需要、供給および政府の政策</p> <p>内 容:売り手と買い手に対する課税は市場の成果にどのような影響を及ぼすか</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第5章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):需要、供給および政府の政策</p> <p>内 容:売り手への課税、買い手への課税、税の帰着</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第5章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):消費者、生産者、市場の効率性</p> <p>内 容:支払用意、需要曲線を用いた消費者余剰の測定</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第6章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):消費者、生産者、市場の効率性</p> <p>内 容:費用と売る意志、供給曲線を用いた生産者余剰の測定</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第6章</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):消費者、生産者、市場の効率性</p> <p>内 容:市場の効率性と市場の失敗</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第6章</p>
第16回	<p>テーマ(何を学ぶか): マクロ経済学ガイダンス</p> <p>内 容:小テストおよびマクロ経済学パートのイントロダクション</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』</p>
第17回	<p>テーマ(何を学ぶか):経済全体の豊かさの測定(1)</p> <p>内 容:GDP の測定、GDP の構成要素</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第8章</p>
第18回	<p>テーマ(何を学ぶか):経済全体の豊かさの測定(2)</p> <p>内 容:名目 GDP と実質 GDP、GDP と厚生</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第4版』第8章</p>

第 19 回	<p>テーマ(何を学ぶか):物価水準の変動について(1)</p> <p>内 容:GDP デフレーターと消費者物価指数</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第 4 版』第 9 章</p>
第 20 回	<p>テーマ(何を学ぶか):物価水準の変動について(2)</p> <p>内 容:インフレーションの影響に対する経済変数の補正</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第 4 版』第 9 章</p>
第 21 回	<p>テーマ(何を学ぶか):生産と成長 (1)</p> <p>内 容:生産性の役割と決定要因</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第 4 版』第 10 章</p>
第 22 回	<p>テーマ(何を学ぶか):生産と成長 (2)</p> <p>内 容:経済成長と公共政策</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第 4 版』第 10 章</p>
第 23 回	<p>テーマ(何を学ぶか):貯蓄、投資、金融システム</p> <p>内 容: 金融制度、国民所得勘定における貯蓄と投資、貸付資金市場</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第 4 版』第 11 章</p>
第 24 回	<p>テーマ(何を学ぶか):貨幣システム</p> <p>内 容:貨幣の意味、準備制度、金融政策の手段</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第 4 版』第 11 章付論 1</p>
第 25 回	<p>テーマ(何を学ぶか):貨幣量の成長とインフレーション</p> <p>内 容: 貨幣市場と金融政策、貨幣数量方程式、インフレーションのコスト</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第 4 版』第 11 章付論 2</p>
第 26 回	<p>テーマ(何を学ぶか):総需要と総供給(1)</p> <p>内 容:短期の経済変動、総需要曲線</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第 4 版』第 12 章</p>
第 27 回	<p>テーマ(何を学ぶか):総需要と総供給(2)</p> <p>内 容:金融・財政政策が総需要に与える影響、総供給曲線</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第 4 版』第 12 章</p> <p>指定図書 マンキュー (2025)『マンキュー経済学Ⅱマクロ編』第 16 章</p>
第 28 回	<p>テーマ(何を学ぶか):総需要と総供給(3)</p> <p>内 容:経済変動の二つの原因</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第 4 版』第 12 章</p>
第 29 回	<p>テーマ(何を学ぶか):開放マクロ経済学の基礎的概念 (1)</p> <p>内 容:財と資本の国際フロー</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第 4 版』第 13 章</p>
第 30 回	<p>テーマ(何を学ぶか):開放マクロ経済学の基礎的概念 (2)</p> <p>内 容:実質為替レートと名目為替レート、購買力平価</p> <p>教科書 マンキュー (2025)『マンキュー入門経済学 第 4 版』第 13 章</p>
試 験	試験を実施